資金調達に関する補足説明資料

2026年11月11日

クリングルファーマ株式会社

（東証グロース：4884）

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

今回の資金調達のポイント

成長投資と株主価値への配慮を両立する、成長戦略に即した資金調達

MANUFACTURING

01

グローバル展開を支える
製造基盤の強化

組換えヒトHGFタンパク質の
製造プラットフォームを強化し、
複数疾患を対象とするグローバル開発
および将来の商業生産に対応

US aSCI

02

脊髄損傷急性期パイプラインの
米国における価値最大化

米国第Ⅲ相試験を速やかに開始できる
「Ready-to-Go」の段階まで推進する
ことで、**提携パートナーの獲得**および
非希薄化資金の導入を促進

FINANCING

03

中長期的な**企業価値向上**を志向した
資金調達

第三者割当増資と固定型ワラント[注1]
（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）
を組み合わせ、**既存大株主からの
継続的な支援を確保**するとともに、
当社の**成長に応じた株価水準での
段階的な資金調達**を実現

注1) 第20回新株予約権については、行使価額修正選択権が付帯されており、当社の取締役会決議により、行使価額の修正を行うことができます。当該決議後は、行使価額は下限行使価額を260円として、行使の直前取引日終値の92%に修正されることとなります。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

資金調達の概要、目的、使途

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

資金調達の概要

- 当社が現在有する大きな特徴 - **開発後期（レイトステージ）のパイプラインを複数有する** – を生かし、足元の資金調達と現状対比高い株価での将来における資金調達を組み合わせたスキームを採用

足元の資金調達

５億円

戦略株主２社による継続支援

ゼノアックHD	**２億円**	● ゼノアックホールディングス株式会社は、当社の大株主である日本全薬工業株式会社（以下「日本全薬」）の完全親会社 ● 日本全薬は**上場前の2007年11月より当社のパートナー企業**であり、当社は組換えヒトHGFタンパク質原薬の製造及び品質試験等を委託
丸石製薬	**３億円**	● 当社と丸石製薬株式会社は、2020年8月より資本業務提携、**脊髄損傷急性期治療薬の日本における独占販売許諾等に関する契約**を締結 ● 2026年9月、**声帯瘢痕治療薬の日本における独占販売許諾等に関する契約**を締結

＋

将来の段階的な資金調達

17億円

２通りのターゲット株価を設定した新株予約権プログラム ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」

- **固定行使価額**注1**（ターゲット株価）**による調達を企図
- 行使価額は２通り設定し、共に**現状株価対比高い水準の600円と1,000円***注1**に設定**
  *時価総額100億円を超える目標株価
- **将来の株価上昇を見越し**、異なる行使価額によって、**段階的に新株式を発行（ターゲット・イシュー）**できることを期待して設定

注1) 第20回新株予約権については、行使価額修正選択権が付帯されており、当社の取締役会決議により、行使価額の修正を行うことができます。当該決議後は、行使価額は下限行使価額を260円として、行使の直前取引日終値の92%に修正されることとなります。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

資金調達の目的

01 当社成長戦略上の位置づけ

第1の矢 国内で2製品を上市 → **第2の矢 海外市場にリーチ** → 第3の矢 適応拡大

成長戦略実現に必要な**全事業の基盤強化**に加え、当社の成長戦略**「3本の矢」**のうち、**第2の矢**にフォーカス

02 今回の資金調達が当社企業価値向上に寄与するプロセス

今回の資金調達

成長戦略を実行するための**投資資金**

戦略株主への第三者割当増資
＋
ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」

重点的に充当予定の資金使途

全事業の基盤強化

組換えヒトHGFタンパク質の
製造基盤を強化

複数疾患のグローバル開発・将来の商業清算・原薬供給に対応

成長戦略のうち「第2の矢」

海外市場にリーチ

脊髄損傷急性期での米国第Ⅲ相試験を「Ready-to-Go」の段階まで推進し、提携・非希薄化資金の導入を促進

企図する効果

企業価値の向上

供給力・再現性	開発から商業生産までの確度向上
事業機会の拡大	海外市場への展開・適応拡大
資金調達力	提携資金・公的資金の獲得
収益ポテンシャル	製品価値・原薬供給価値最大化

「創薬ベンチャーからバイオ製薬企業へ」

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

資金調達の使途

脊髄損傷急性期パイプラインの価値向上と製造基盤の構築に重点配分

① 678百万円	② 640百万円	③ 310百万円	④ 577百万円

差引手取概算額 22億円（現時点案）

①	米国での脊髄損傷急性期の第Ⅲ相試験の準備推進	678 百万円	治験用製剤の試験製造、追加非臨床試験、CRO・コンサルティング、市場調査
②	新製造法による組換えヒトHGFタンパク質原薬の製造体制の構築準備	640 百万円	新原薬製造法をグローバル開発・商業生産へつなぐ製造体制の構築準備
③	国内原薬製造	310 百万円	国内開発・将来上市に備えた適正な原薬在庫の確保
④	運転資金	577 百万円	2026年12月から2028年9月までの一般管理費等の一部

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」の概要

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本新株予約権の概要

- 株価動向によらず、最大発行株式数は2,146,000株に固定 (2026年9月30日の発行済株式数に対し24.97%に固定)

	第19回新株予約権	第20回新株予約権
潜在株式数 (最大希薄化率)	2,146,000株 (2026年9月30日の発行済株式数に対し24.97%)	
各潜在株式数 (最大希薄化率)	1,073,000株	1,073,000株
想定調達金額注1	1,705百万円(差引手取概算額)	
各想定調達金額注2	643百万円	1,073百万円
割当日	2026年12月7日	
行使期間	2年間（2026年12月8日～2028年12月8日）	
行使価額	600円	1,000円
行使価額修正	行使価額の修正なし	行使価額修正選択権が付帯されており、当社の取締役会決議により、行使価額の修正を行うことができます。当該決議後は、行使価額は下限行使価額を260円として、行使の直前取引日終値の92%に修正されることとなります。
割当予定先	マッコーリー・バンク・リミテッド	
その他	取得条項、譲渡制限	

注1) 想定調達金額は、本新株予約権の発行価額の総額に、当初行使価額に基づき全ての新株予約権が行使されたと仮定して算出した本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額を合算した額から、本新株予約権の発行に係る諸費用の概算額に相当する金額を差し引いた金額です。

注2) 各想定調達金額は、当初行使価額に基づき全ての新株予約権が行使されたと仮定して算出した本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額です。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本新株予約権による資金調達の仕組み ① - 前回までの案件との違い

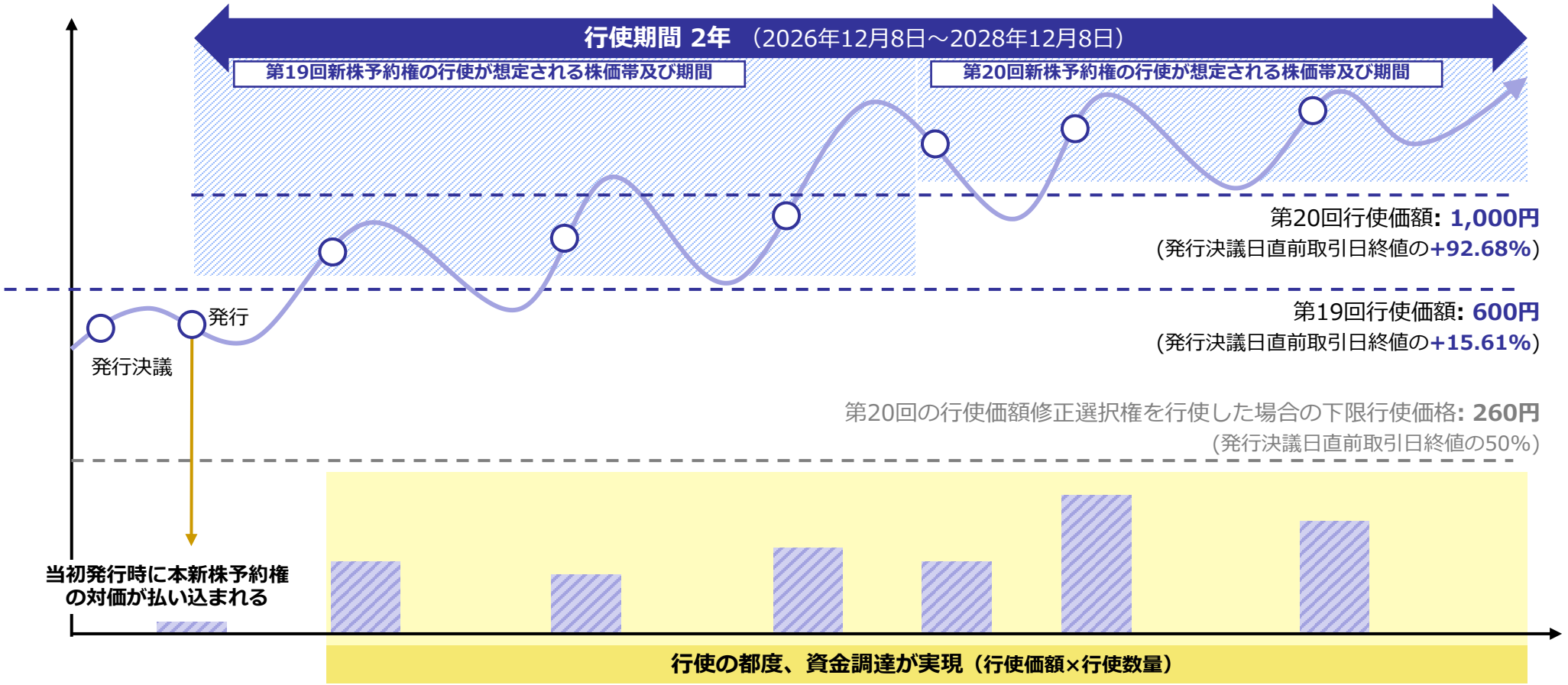
	本新株予約権 （第19回新株予約権及び第20回新株予約権）	前回までの案件 （第10回新株予約権(2021年)、第13回新株予約権(2023年)、第16回新株予約権(2025年)）
割当先による行使	**同様** 割当先は市場動向を踏まえた上で行使請求を行うことができ、当該行使に係る株式の対価として代金(行使価額) を払い込む (権利行使により徐々に資金調達が実現)	
潜在株式数	**同様** 当初潜在株式数（本新株予約権は2,146,000株）は固定されており、将来的な市場株価の変動によって潜在株式数が変動することはありません。	
行使価額の修正	**行使価額は固定** （但し、注1ご参照）	行使価額は行使の直前取引日の終値に応じて日々修正
行使が発生する株価水準	行使価額は、第19回新株予約権については600円、第20回新株予約権については1,000円と、**現状株価対比高い水準に固定**（但し、注1ご参照）	株価が下限行使価額を上回って推移する限りにおいて、出来高等に応じて徐々に行使が進行
下限行使価額	行使価額の修正なし （但し、注1ご参照）	発行決議日直前取引日終値×50% (第16回) もしくは ×60% (第10回、第13回)
採用プログラム	**ターゲット・イシュー・プログラム（TIP）** • 当社が新株式の発行に際して希望する目標株価（**ターゲット価格**）を定め、これを行使価額として設定 • **将来の株価上昇を見越し**、異なる行使価額によって、**段階的に新株式を発行**（ターゲット・イシュー）できることを期待して設定	いわゆるMSワラント

注1) 第20回新株予約権については、行使価額修正選択権が付帯されており、当社の取締役会決議により、行使価額の修正を行うことができます。当該決議後は、行使価額は下限行使価額を260円として、行使の直前取引日終値の92%に修正されることとなります。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本新株予約権による資金調達の仕組み ② - ターゲット・イシュー・プログラム『TIP』

- **株価の上昇局面において効率的かつ有利な資金調達を実現**するため、新株予約権を２回のシリーズに分け、予め将来の株価上昇を見込んで２通りの行使価額を設定
- ２通りの行使価額の設定は、**株価が上昇したタイミングで予め設定したターゲット株価で資金調達を達成**し、調達した資金を用いて当社企業価値を向上させることにより、更なる株価上昇と次のターゲット株価における資金調達を目指す、というサイクルを企図



注）上記はイメージであり、当社株価が上記のとおりに推移することをお約束するものではありません。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

Q&A

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本新株予約権に関するQ&A（1/3）

質 問	回 答	参照ページ
新株予約権とは何ですか？	新株予約権とは、発行会社に対してそれを行使することにより、当該発行会社の株式の交付を受けることができる権利です。新株予約権の割当予定先であるマッコーリー・バンク・リミテッドが当該権利を行使することで、当社は行使価額×行使数量相当の金銭の払込を受け、マッコーリー・バンク・リミテッドに当社普通株式を交付します。これにより当社は資金調達及び資本増強を行います。	-
今回の資金調達スキームを選んだ理由は？	まず、既存株主である丸石製薬株式会社（以下「丸石製薬」）及びゼノアックホールディングス株式会社（以下「ゼノアック」）に対して新株式を発行することにより、当初の証券発行時点で一定の資金を調達できます。 またあわせて、現状株価対比高い水準に2通りの異なる行使価額を設定した新株予約権の発行（ターゲット・イシュー・プログラム（TIP））を組み合わせることで、株価に対する一時的な影響を抑制しつつ、将来の株価の上昇局面における段階的・効率的かつ有利な資金調達を実現を目指しております。 **現在の当社の大きな特徴の一つとして、開発後期（レイトステージ）のパイプラインを複数有する**ことが挙げられます。本ファイナンスにおいて、**当初の証券発行時点で一定の資金が調達可能な新株式発行と、将来株価が上昇したタイミングで徐々に資金調達が実現するTIPを組み合わせることは、当社の現状を踏まえた財務戦略としてもっとも有効かつ効率的であると判断**し、本資金調達スキームを採用いたしました。	P. 9
ターゲット・イシュー・プログラム（TIP）とは何ですか？	固定行使価額（ターゲット株価）による調達を企図し、当社が新株式の発行に際して希望する目標株価（ターゲット価格）を定め、これを行使価額として設定した新株予約権です。これは、将来の株価上昇を見越し、異なる行使価額によって、段階的に新株式を発行（ターゲット・イシュー）できることを期待して設定したものです。 **株価の上昇局面において効率的かつ有利な資金調達を実現**するため、新株予約権を２回のシリーズに分け、予め将来の株価上昇を見込んで２通りの行使価額を設定しております。２通りの行使価額の設定は、**株価が上昇したタイミングで予め設定したターゲット株価で資金調達を達成**し、調達した資金を用いて当社企業価値を向上させることにより、更なる株価上昇と次のターゲット株価における資金調達を目指す、というサイクルを企図しております。	P. 4

注）参照ページは、2026年11月11日付「第三者割当による株式、第19回新株予約権及び第20回新株予約権（行使価額修正条項選択権付）の発行、並びに新株予約権買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本新株予約権に関するQ&A（2/3）

質 問	回 答	参照ページ
ターゲット・イシュー・プログラム（TIP）とは何ですか？(続き)	なお、第20回新株予約権について、行使価額は原則として当初行使価額に固定されますが、当社株価が当初行使価額を下回る状況においても第20回新株予約権が行使される可能性を高めるため、当社取締役会が必要と判断し、**行使価額修正選択権の行使を決議した場合には、行使価額が修正される設計となっています。この設計により、仮に当社株価が低迷した場合に第20回新株予約権の行使が進まないリスクを低減することができると同時に、当社株価が大きく上昇した場合においても、行使価額修正選択権の行使により調達額を増額することが可能**となります。第20回新株予約権について、行使価額修正に係る取締役会決議を行った場合には速やかに開示いたします。	P. 4
本資金調達スキームの主なメリットは？	まず、本新株式の発行により、**証券の発行時に一定程度の資金を調達**することが可能となっております。 次に、あわせて発行する本新株予約権の行使価額は、現状株価対比高い水準に、段階的に2通り設定されており、**株価が上昇したタイミングで予め設定したターゲット株価で資金調達を実施**することができます。 なお、本新株予約権に係る潜在株式数が2,146,000株と一定であり、**株価動向にかかわらず、最大交付株式数が限定**されております。そのため、希薄化率が当初予定より増加することはありません。 また、資金調達に柔軟性を持たせるために、上記の通り、第20回新株予約権については、行使価額修正選択権が付帯されており、仮に当社株価が低迷した場合に第20回新株予約権の行使が進まないリスクを低減することができると同時に、当社株価が大きく上昇した場合においても、行使価額修正選択権の行使により調達額を増額することが可能となります。この場合の下限行使価額は260円に設定されていることから、株価への影響の軽減が可能です。 さらに、**当社の判断により、残存する本新株予約権を取得**することができ、資本政策の柔軟性を確保できます。	P. 10
本資金調達スキームの主なデメリットは？	本新株予約権の行使価額は、当社の希望により、いずれも現時点の当社株価よりも高く設定されており、当社株価がこれらの行使価額を下回って推移した場合は本新株予約権者による権利行使がされず、資金調達ができない可能性があります。第20回新株予約権については、当社取締役会が行使価額修正選択権の行使を決議した場合には、行使価額が修正される設計となっておりますが、下限行使価額が設定されているため、株価が下限行使価額を下回る水準で推移した場合には、本新株予約権の行使が期待できなくなります。	P. 11

注）参照ページは、2026年11月11日付「第三者割当による株式、第19回新株予約権及び第20回新株予約権（行使価額修正条項選択権付）の発行、並びに新株予約権買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本新株予約権に関するQ&A（3/3）

質 問	回 答	参照ページ
希薄化の規模は？	本新株式発行による最大新規発行株式数1,046,000株（議決権数10,460個）に、全ての本新株予約権が行使された場合に発行される当社の普通株式の数2,146,000株（議決権数21,460個）を合算した株式数は3,192,000株（議決権数31,920個）であり、2026年９月30日現在の当社発行済株式総数8,593,200株及び総議決権数85,830個を分母とする希薄化率は37.15%（議決権ベース37.19%）となる見込みです。	P. 16
株式はいつ発行されますか？株価への配慮はどうなっていますか？	行使期間は、2026年12月8日から2028年12月8日までになり、マッコーリー・バンク・リミテッドはその裁量により本新株予約権を行使することができます。マッコーリー・バンク・リミテッドは本新株予約権の行使により取得する当社普通株式を、株価推移により適宜判断の上、基本的に市場内で売却しますが、売却時は常にマーケットへの影響を勘案する方針である旨を確認しています。	P.3, P.20
割当先としてマッコーリー・バンク・リミテッドを選んだ理由は？	①マッコーリー・グループが豪州証券取引所（ASX）に上場するグローバル金融グループであり、オーストラリア健全性規制庁（APRA）の監督下にあること、②日本市場において20年以上にわたり資金調達及び資本ソリューション業務を展開しており、日本の上場企業に対する新株予約権の第三者割当による資金調達において豊富な実績を有していること、③当社の資金需要の規模・時期及び株価への影響等を総合的に考慮した柔軟なスキーム設計が提案されたこと、④払込みに必要な十分な財務基盤を有していること、を総合的に勘案し、マッコーリー・バンク・リミテッドを本新株予約権の割当予定先として選定いたしました。	P. 20
もし株価が下落し続けた場合はどうなりますか？	株価が長期的に当初行使価額を下回り推移する状況では、発行決議日時点の株価に基づき想定される金額を下回る資金調達となる可能性があります。なお、第20回新株予約権については、当社取締役会が行使価額修正選択権の行使を決議した場合には、行使価額が修正される設計となっておりますが、行使価額は下限行使価額（260円）を下回ることはありません。また、本新株予約権の行使価額は、当社の希望により、いずれも現時点の当社株価よりも高く設定されており、当社株価がこれらの行使価額を下回って推移した場合は本新株予約権者による権利行使がされず、資金調達ができない可能性があります。	P. 11
資金調達が想定どおりに進まない場合の対応はどうなりますか？	当社取締役会決議により、第20回新株予約権に関し行使価額修正選択権を適用する可能性があります。 その他、手元資金の活用や他の方法による資金調達の実施により充当する予定です。	P. 10
今期業績に与える影響は？	本新株予約権の発行による当期の業績に与える影響は軽微であります。なお、将来の業績に変更が生じる場合には、適宜開示を行う予定です。	P. 23

注）参照ページは、2026年11月11日付「第三者割当による株式、第19回新株予約権及び第20回新株予約権（行使価額修正条項選択権付）の発行、並びに新株予約権買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）の締結に関するお知らせ」におけるページを表しております。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

Appendix

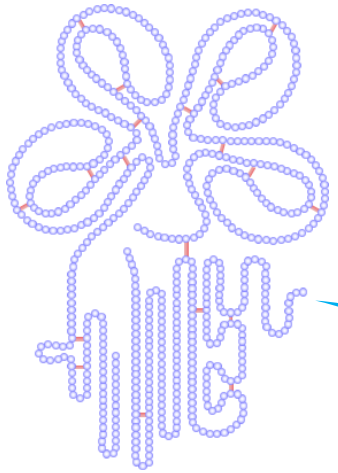
– 会社概要 –

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

会社概要

企業理念

難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること



- 日本で発見された、からだの中に存在するタンパク質
- 692個のアミノ酸、19個の分子内架橋
- 複雑な構造 (クリングル構造：社名の由来)
- マルチな生物学的機能
- 組織・臓器の「保護」、「再生」、「修復」を担う

再生創薬シーズ HGF

国際一般名称
Oremepermin Alfa
（オレメペルミン アルファ）



製品のイメージ (医療用医薬品)

会社名	**クリングルファーマ株式会社（証券コード：4884）**
設立日	2001年12月21日 大阪大学・慶應義塾大学発 創薬バイオベンチャー
代表者	安達 喜一
オフィス	大阪市北区中之島４-３-51 Nakanoshima Qross 未来医療R&D センター10階
事業概要	HGFを医薬品とするための研究 開発、製造、販売
資本金	64百万円（2026年９月末時点）
役員数	取締役7名、監査役３名
従業員数	19名（2026年９月末時点）

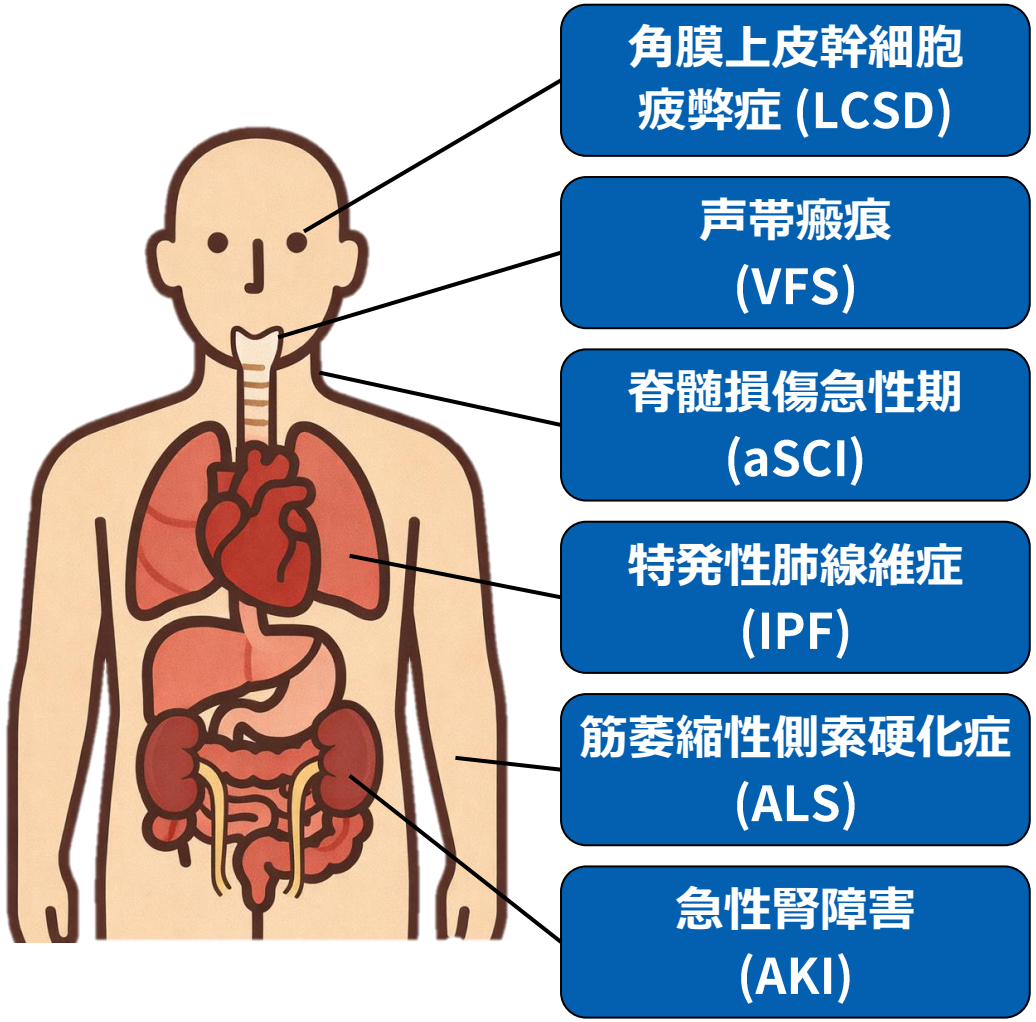
All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

「一剤で複数の希少疾患に挑む」HGF プラットフォーム

複数の疾患への応用を可能にするHGFの４つのコアピラー

- **神経修復／保護**
- **抗線維化**
- **抗炎症**
- **上皮再生**





All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

クリングルファーマの戦略

「独自ノウハウ × 効率的な開発 × 排他力」で難治性疾患のファーストインクラスを狙い、大型市場への展開を目指す

- **HGFタンパク質創薬を突き詰めてきたからこそ蓄積されてきた知見、ノウハウを創薬に活かす**
  - GMPグレードのHGF原薬・製剤の製造ノウハウ
  - 豊富な非臨床、臨床データ
- **希少疾患にフォーカスし、オーファン指定によるメリットを活用する**
  - 世界的に希少疾患薬市場が拡大（世界市場シェア2022年15%→2032年21%*）
  - 小規模治験による効率的な開発
  - 優遇措置の活用（優先審査、最長10年の再審査期間など）

*https://www.evaluate.com/press-release/2026-orphan-drug-report/

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

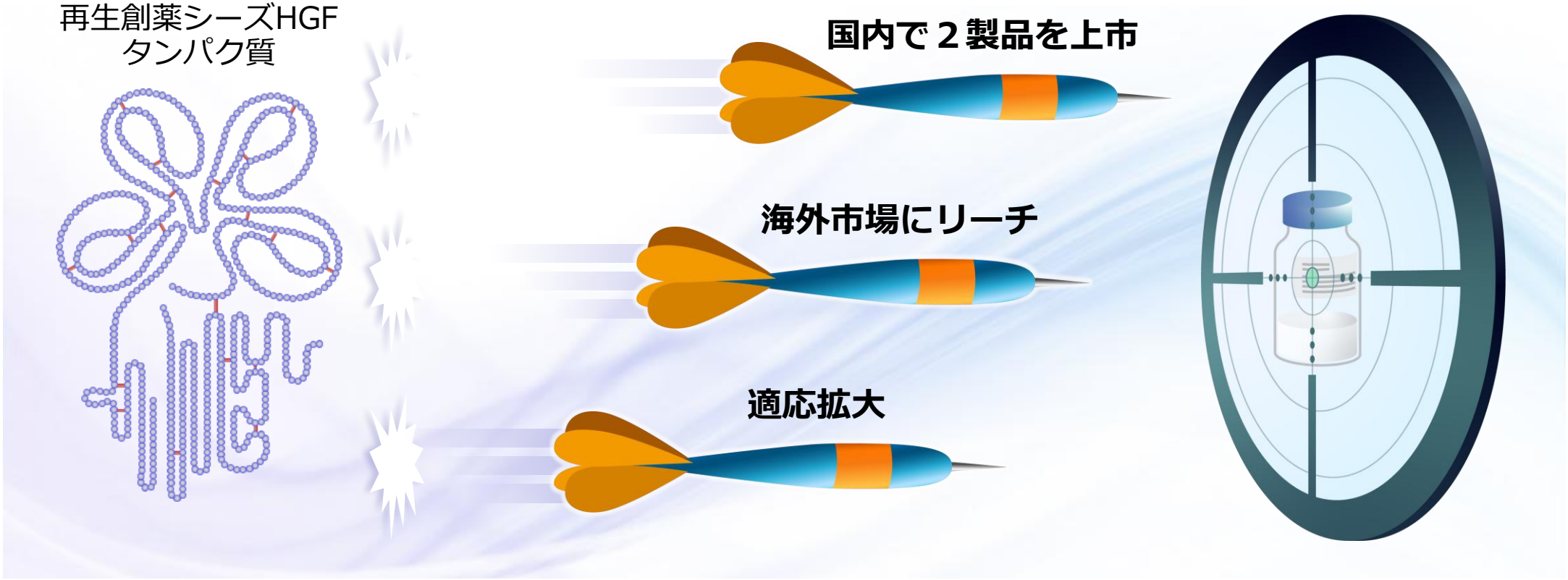
開発パイプラインの概要

HGFは、複数の疾患領域において臨床・非臨床の両面で一貫した安全性と有効性を示しています。

HGF 作用機序	対象疾患	非臨床 PoC	臨床試験 Phase 1	臨床試験 Phase 2	臨床試験 Phase 3	承認申請	販売
神経修復／保護	脊髄損傷急性期 (aSCI)				追加P3開始 IND発効		**日米欧でオーファン指定取得**
	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)				**バイオマーカー追加解析**		
抗線維化	声帯瘢痕 (VFS)				**症例組入れ完了**		**日本でオーファン指定申請準備**
抗炎症／器官形成	急性腎障害 (AKI)						
上皮再生	角膜上皮幹細胞疲弊症 (LSCD)			**眼科領域は米国クラリス社に導出**			

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

クリングルファーマの成長戦略：３本の矢



「創薬ベンチャーからバイオ製薬企業へ」

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.

本資料の取り扱いについて

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものです。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

- 本資料は、当社に関する情報の開示のみを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。

- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

All rights reserved by Kringle Pharma, Inc., 2026.